



2024年の始まりの日に

新潟市立有明台小学校
校長 白澤 陽子

2024年の始まりの日に発災した能登半島地震は、新潟県や新潟市にも大きな被害をもたらしました。被災された方々にお見舞いを申し上げますと同時に、厳しい寒さが続く中ですが、一日も早く平穏な生活に戻れることを心よりお祈りいたします。

1月1日（月）の地震発生直後、学校に駆けつけた私が目にしたのは、避難所設営のために地域の方々が力を合わせて作業する姿でした。津波の恐れのある中、避難してきた方をできるだけ高いところに誘導する方、小さいお子さん連れの方へ授乳できる部屋を確保できるように周囲に働きかけながら授乳室を設定される方、音楽室にシートやござを敷いてくださる方、学校に避難してきた方の分をはじめ、近くの福祉施設の方の分も炊き出しをして届ける方など、その動きに頭の下がる思いで胸がいっぱいになりました。そのような地域の方に混ざり、周囲の方に「何かお手伝いすることはありませんか」と尋ねたり、避難場所となった教室にパイプ椅子を並べたりする子どもたちや卒業生の姿がありました。これまで、防災について地域の方から学び、地域の方とともに考えてきた、その延長線上にある子どもたちの姿でした。

避難所が閉鎖になった2日（月）以降も、子どもたちは不安な気持ちで過ごしているのでは、と案じていました。迎えた冬休み明け初日の1月9日（火）、元気よく登校してきた子どもたちの姿に安堵した私でした。全校朝会では子どもたちに次のことを話しました。

- 災害が発生したときにはまず、自分自身の身の安全を守ること。
- 家庭で家族と避難先や安否確認の方法などを話しておくこと。
- 災害時の避難所では地域や周囲の人たちと協力して助け合うこと。
- 今回の地震で不安な気持ちや心配なことがあったら、どんな小さなことでも担任の先生や周りの人に話してみることに。

その後の各学級での今回の地震を踏まえた防災についての担任の話も、子どもたちは真剣な表情で聞いていました。

寒い日も晴れ間を見つけグラウンドで仲良く遊ぶ子どもたち、「ありがとう6年生の会」に向けて活動を始めた子どもたち、そして卒業に向かって日々を過ごす6年生など、冬休み明けの子どもたちは様々な思いを抱きながらも、新しい年の目標に向かって日々の活動に前向きに取り組んでいます。

1月11日（木）、有明台小学校は創立69周年を迎えました。有明台小学校は、今回の災害のような大変なときもたくさんの方とつながり、前向きに取り組んでいこうとする子どもたちの力を育て、70周年へ、そして、未来へとつながっていきます。

2月、3月の主な行事予定(変更する場合があります)

月	日	曜	行事等
2	1	木	全校朝会
	5	月	家庭学習・メディアコントロール週間(～9日)
	7	水	委員会⑤(後期最終)
	11	日	建国記念の日 
	12	月	振替休日
	13	火	全校計算テスト
	14	水	委員会⑥(引継: 4～6年)
	15	木	新1年生保護者会(14時～)
	21	水	ありがとう6年生の会前日準備
22	木	ありがとう6年生の会(2、3限)	
23	金	天皇誕生日 	
29	木	学習参観日・懇談会(4～6年・風の子)	
3	1	金	学習参観日・懇談会(1～3年)
	5	火	全校漢字テスト コミュニティ・スクール④
	6	水	委員会(4、5年)
	7	木	同窓会入会式(5限: 6年)
	13	水	授業5限
	14	木	授業4限
	15	金	授業4限
	18	月	授業4限 給食最終日
	19	火	授業3限
	20	水	春分の日 
	21	木	後期終業式 卒業式前日準備(5年)
	22	金	第69回 卒業証書授与式(6年、5年、4年参加)
	25	月	離任式 学年末休業開始



有明台祭り



校内書き初め大会

